

小学六年

適性検査A

解答と解説

問一
そ
れ
ぞ
れ
の
生
活
の
リ
ズ
ム
や
事
情
が
あ
る
こ
と

19

問二	【例】		
加	と	夕	相
え	り	イ	手
て	か	ミ	の
丁	か	ン	状
寧	れ	グ	況
な	る	を	や
頼	よ	う	労
み	う	ま	カ
方	に	く	に
を	敬	は	想
す	意	か	像
る	を	り	カ
の	払	、	を
が	う	気	働
よ	労	分	か
い	い	よ	せ
。	の	く	た
	言	作	う
	業	業	え
	を	に	で

80 60 40 20

【例】							
ご		を	手	切	事	切	
と	私	す	の	だ	情	に	他
に	は	る	事	と	や	す	者
限	文	こ	情	説	苦	べ	と
ら	章	と	や	明	労	き	コ
ず	B	が	労	さ	を	こ	ミ
、	の	大	力	れ	考	と	ユ
自	筆	切	を	て	え	に	ニ
分	者	だ	考	い	、	つ	ケ
が	の	と	え	る	相	い	丨
何	意	述	て	。	手	て	シ
か	見	べ	丁	ま	を	、	ヨ
を	に	ら	寧	た	尊	文	ン
伝	同	れ	な	、	重	章	を
え	意	て	も	文	す	A	と
た	す	い	の	章	る	で	る
い	る	る	の	B	態	は	う
と	。	。	頼	で	度	個	え
い	頼		み	は	が	別	て
う	み		方	相	大	の	大

100 20

問三													
	も	の	た	業	よ	て	作	い		業	自	う	気
	の	で	よ	効	く	し	業	内	特	を	分	こ	持
	の	、	い	率	作	ま	を	容	に	発	の	と	ち
	頼	で	結	が	業	い	す	に	だ	し	言	は	が
	み	き	果	上	に	や	る	ば	れ	た	葉	二	強
	方	る	に	が	取	す	の	か	か	い	が	の	す
	が	だ	つ	る	り	い	は	り	に	。	相	次	ぎ
	で	け	な	だ	か	。	相	意	も		手	に	る
	き	相	が	け	か	頼	手	識	の		に	な	と
	る	手	る	で	れ	み	だ	が	を		ど	っ	、
	よ	の	可	な	る	ご	と	向	頼		う	て	相
	う	こ	能	く	よ	と	い	い	む		伝	し	手
	に	と	性	、	う	を	う	て	時		わ	ま	が
	な	を	が	自	に	し	考	し	は		る	い	ど
	り	考	高	分	で	た	え	ま	、		か	や	う
	た	え	ま	が	き	相	が	い	お		を	す	思
	い	た	る	望	れ	手	ぬ	、	願		考	い	う
	。	丁	と	ん	ば	が	け	実	い		え	。	か
		寧	思	で	、	気	落	際	し		て	常	と
		な	う	い	作	分	ち	に	た		言	に	い

440

400

300

200

(配点)

{	問一	15点	}	計100点
	問二	35点		
	問三	50点		

【解説】

問一

B1 情報を獲得する 具体化 関係づけ

文章Aの(中略)の少し前に、「〜っていいなあ」という発言が意図せず相手に不快な思いをさせる(「イヤッ」とさせる)事例が紹介されています。(中略)の後に、「一種の決めつけ」「それぞれの事情に注意を払っていない」「誰かを尊重した態度とは言えない」という表現でその理由が述べられています。これと類似した状態を文章Bの中から探すと、筆者の父が「大した量じゃないんだけど…」と言いつつ大量の翻訳を筆者に依頼する事例が見つかります。このことについて筆者が意見を述べている部分を探しながら読み進めると、「ただ、父と娘という関係であっても、社会人になれば、それぞれの生活のリズムや事情があることを少しは考えてほしいのです」という主張が見つかります。つまり、文章Bの筆者は相手(この場合は父)が「それぞれの生活のリズムや事情があること」を見落としたために、このような失礼な依頼になったのだと考えているのです。

問二

B2 具体化 関係づけ 置き換え

文章Bの中で、筆者が「このような頼み方がいい頼み方だ」と考えて紹介している内容を意識的に探しましょう。また、これとは逆に「このような頼み方はよくない頼み方だ」という内容も、「いい頼み方」を考えるうえでは大いに参考になります。「文章B全体をふまえ」という条件がつけられていることから、あてはまる部分を一つ見つけておしまいにすることはなく、他にもあてはまる場所がないか注意深く探していきましょう。3ページ上段に「行動を起こす前に、5秒間でも考える時間を持つ

てみるとよい」、「劣い言葉を加えることは必須です」、3ページ下段に「頼まれた側としては、だいぶ気分よく作業にとりかかれます」、「タイミングをよくよく考えた上で行いたい」「想像力が欠けているといわざるをえません」とあることに注意し、これらをまとめて解答を作りましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について(15点)

字数制限を満たした上で、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、5点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

・筆者が「いい頼み方」として説明していること、または、「よくない頼み方」として説明していることの反対にあたる内容が説明されているか。説明が書かれていない場合は0点となります。

- ・内容に過不足がないか
- ・文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか
- ・同内容の不必要な反復がないか

形式等について(10点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・誤字や脱字がないか
- ・文法的な誤りがないか
- ・語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・常体、敬体の混在がないか
- ・不適切な話し言葉の使用がないか

・消し残りなどで字が見づらくないか
マス目の使い方・構成について(10点)

内容等が0点でない場合、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・指定されたマス目の使い方方で書かれているか
- ・指定された字数で書かれているか

問三 C2 理由 置き換え 推論

【文章A】と【文章B】に書かれたことを確認して、他者とコミュニケーションをとるうえで注意すべきことは何か、という課題についてあなたの考えを述べる問題です。

第一段落では、【文章A】と【文章B】それぞれに書かれた、他者とコミュニケーションをとるうえで大切にすべきことについてまとめます。

【文章A】では、前半で「文字通りではない話者の意味」を使って皮肉の形をとって悪口を言う事例、後半では誰かが劣っていると言っているわけではなく悪口になりようがないと思われるような表現が相手をイラッとさせてしまうことがあるという事例が紹介されています。前半は話し手が意図的に言っている表現なのでもちろん悪口として良くない例ですが、一見悪口を言っているように見えない後半の事例でも、相手に不快な思いをさせようという可能性があるということが述べられています。「大切にすべきこと」という観点から考えると、後半の内容をまとめておくといでしょう。また、【文章B】の筆者は、自分の父親から悪気なく英語の翻訳を頼まれた実例を引き合いに出し、そこから仕事上で誰かに何かを依頼することについて話を

広げています。「大切にすべきこと」という観点からは、相手との関係に応じて頼みごとをするのはかまわなけれど、できるだけ相手の事情に気を配って丁寧な頼み方をするのが大切だ、という内容でまとめるとよいでしょう。

第二段落では、【文章A】と【文章B】のいずれかの筆者の考えをふまえて、あなたの考えを書きます。たとえば、自分は悪口を言たつもりがなくても相手に不快な思いをさせてしまう可能性がある、あるという【文章A】の筆者の意見に同意できるところがあれば、そのようなことが起こらないようにするにはどうすれば良いか、という点について意見を述べることができます。また、相手のことを考えて丁寧な頼み方をするのが大切だという【文章B】の筆者の意見に同意できるところがあれば、相手の立場に立って具体的にどのようなことに気を配るべきか、またそれによってコミュニケーションにどのようなプラスが生じるか、という観点で自分の意見をまとめることができます。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きます。自分の意見を述べる作文では、意見だけを書くのではなく必ず理由をセットにするよう心がけましょう。どのような理由でそういう意見を持つようになったのかを明らかにすることで、より説得力のある文章を書くことができるようになります。

※以下のポイントを中心に見ます。

内容等について(30点)

字数制限を満たした上で、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、5点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・第一段落

〔文章A〕と〔文章B〕それぞれに書かれた、他者とコミュニケーションをとるうえで大切にすべき点について、それぞれの筆者の考えが書かれているか

・第二段落

第一段落でまとめた〔文章A〕と〔文章B〕のいずれかの筆者の考えをふまえて、コミュニケーションをとるうえで気をつけたことについて自分の考えが書かれているか

・第三段落

第二段落到書いたことについての理由が書かれているか

- ・ それぞれの段落に書かれた内容に過不足がないか
- ・ 文や文章の論理構成、一文が途中で終わっていないか
- ・ 同内容の不必要な反復がないか

形式等について（10点）

内容等が0点でない場合、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 誤字や脱字がないか
- ・ 文法的な誤りがないか
- ・ 語句や言葉の使い方に誤りがないか
- ・ 常体、敬体の混在がないか
- ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
- ・ 消し残りなどで字が見づらくないか

原稿用紙の使い方・構成について（10点）

内容等が0点でない場合、左記のような視点で採点します。誤り1か所につき、2点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 原稿用紙の使い方に誤りがないか

- ・ 指定された段落数で書かれているか
- ・ 指定された字数で書かれているか

* 400字未満の場合、一行不足（361字～399字まで書かれている答案）のみ、「原稿用紙の使い方・構成について」を0点として、「内容等について」「形式等について」を採点します。